

## 2020年度研究プロジェクト題目一覧

	題目	分野
1	接頭辞「御」のつくことばについて	言語学
2	長崎弁の方言研究	言語学
3	名古屋方言の連母音aeの融合について	言語学
4	日本社会における鉄砲の受容とその影響－火縄銃伝来から近代戦争に至るまで－	文化史
5	贈答品から見る後期尾張藩の家格意識	日本史学
6	江戸の怪談文化—歌舞伎を中心に—	日本史学
7	ソフトパワー的視点からみる織田信長の茶の湯政策	日本史学
8	右翼思想と日本会議 —大衆思想を動かす—	日本史学
9	熱海温泉からみる日本人の温泉愛	日本史学
10	名古屋の「ええじゃないか」について	日本史学
11	「家紋」の現代日本における使用法	日本史学
12	コレラと新型コロナウイルス感染症～幕末・明治期と現代の病気への対処の比較～	日本史学
13	井原西鶴文学と江戸社会の男色文化	日本史学
14	現代日本における家父長制の変遷に関する一考察 — 東京医科大学医学部不正入試事件を通して	文化人類学
15	ニュージーランドにおける マオリの社会的地位 づけ—復権運動を通して—	文化人類学
16	学生による海外ボランティア活動の意義について—セブ島の子供達を対象とした支援活動を通して—	文化人類学
17	アフリカの都市における相互扶助機能の諸相について	アフリカ
18	現代日本における知的障害者の生き方に関する考察	文化人類学
19	カレーの多様性—日本におけるカレー文化の形成	文化人類学
20	K-POP アイドルグループの人類学的考察—「 TWICE 」を事例に—	文化人類学
21	現代アフリカの社会問題としての 女性性器切除— 廃絶の取り組みの 広がりとその限界についての — 考察	文化人類学
22	ラーメンから考える食文化の多様性	文化人類学
23	エチオピアにおけるペンテコステ派キリスト教の発展—政治変動と宗派間の葛藤をめぐって—	文化人類学
24	現代日本人の性行動の変化とその社会的影響	文化人類学
25	他者と自己の出会いにおける間主観性—“恩”の感情を探る—	哲学
26	道徳問題から見た日本の道徳教育	哲学
27	ドビンゴ口禁止は正当化できるのか	哲学
28	死別の悲しみについて 剥奪説を通して検討する	哲学
29	ネット社会からみるうわさ	哲学
30	人工知能やロボットは道徳的(被)行為主体と成りうるか	哲学
31	『鬼滅の刃』において女性ジェンダー表現が担う意味	哲学
32	ステレオタイプ由来する差別の解消に向けて	哲学
33	死に対して抱く適切な情動とはなにか? ～ミュージカル『エリザベット』を通じて考える～	哲学
34	なぜ「女ことば」はなくなるのか	哲学
35	音楽鑑賞における美的判断の客観性について	哲学
36	人工妊娠中絶への責任はどこにあるのか	哲学
37	マンガはアートか	哲学
38	衣服の社会的側面について ゴシックロリータファッションを例題として	哲学
39	縄文文化における道央部の優位性の出現理由—漁撈に関する動物遺存体の分析から—	考古学
40	弥生時代区分における環境的要因の導入	考古学
41	縄文時代早期後半における東海系条痕文土器の変遷	考古学
42	縄文時代前期における石匙の変遷	考古学
43	旧石器・縄文時代の遺跡分布	考古学
44	縄文時代晩期の石器素材剥片生産—愛知県馬見塚遺跡の下呂石製石器を中心に—	考古学
45	縄文・弥生時代の埋葬姿勢 — 愛知県出土人骨を中心として—	考古学
46	縄文時代後・晩期における北海道の副葬品	考古学
47	東北地方の植生研究	考古学
48	縄文時代の赤色顔料利用	考古学
49	月に惹かれる日本人—月をめぐる日本と中国の共通性と違い—	文化人類学
50	吸血鬼伝説—吸血鬼像の変遷とその背景—	文化人類学
51	日本の人魚観	文化人類学
52	パレエ『白鳥の湖』の変容	文化人類学
53	妖怪文化の変遷と現代の怪異	文化人類学
54	韓国文学にみる女性像の変遷とジェンダー	文化人類学
55	図像と語りからみる鬼の風貌	文化人類学
56	南部絵巻の誕生の契機	文化人類学
57	インドネシア民話から考える森の役割と民族性	文化人類学
58	エジプト神話と王権	文化人類学
59	脳卒中の意味付けの変遷:よりよい向き合い方を目指して	文化人類学
60	三河の火祭り	文化人類学
61	ニュージーランド・マオリ族の異界と魂	文化人類学

## 2020年度研究プロジェクト題目一覧

	題目	分野
62	ヘラクレスにおける動物と神	哲学
63	ゼウスの正義——アイスキュロスのオレスティア三部作を中心に——	哲学
64	ソポクレスの『アンティゴネー』における国家・宗教・個人——生者への愛と死者への愛——	哲学
65	安楽死は制度化されるべきか——人間の尊厳との関係で——	哲学
66	『リア王』の道化の役割とは——道化が突如として消えた意味——	哲学
67	「愚帝」は存在したのか——ネロ、ドミティアヌスについて——	歴史学
68	国家興亡のメカニズム—国の趨勢を決定づける要素とは	科学文化論
69	西欧の王権と皇帝権	科学文化論
70	解離性同一性障害について—概念と診断基準の歴史的考察—	科学文化論
71	中国古代における青銅戈の発展と周辺地域への伝播	考古学
72	中国大陸の新石器時代と日本列島の弥生時代におけるブタの家畜化—動物考古学視点から—	考古学
73	秦の長城と直道—秦始皇帝の対匈奴政策と交通路の整備	考古学
74	中国初期王朝時代における青銅器生産の過程	考古学
75	複数の属性を持つ個人は互いに関わるのか	文化人類学
76	社交ダンスから競技ダンスへ	文化人類学
77	日本の多文化教育は何を意味するのか	文化人類学
78	日本の出汁—出汁を取るといふこと	文化人類学
79	世界遺産の光と影	文化人類学
80	新しい時代の仮面ライダー	文化人類学
81	人を繋ぐ音楽	文化人類学
82	中国メディアが社会に与える影響—新型コロナウイルス感染症のパンデミックとその報道を事例に	文化人類学
83	「女性にとって働きやすい社会」を生きる多様なわたしたち	文化人類学
84	「月9」が描く時代—1990～2015年の恋愛ドラマを事例に	文化人類学
85	オタクの実態	文化人類学
86	現代日本の学校制服—高校生の学校制服の実態	文化人類学
87	変化し続ける日韓関係～歴史・政治・文化から人々の考え方を見る～	文化人類学
88	プロレスの文化人類学的研究	文化人類学
89	ミニマリストから考える豊かさ	文化人類学
90	テーマパークの存続策を考える	文化人類学
91	地域文化を生かした東員町の地域振興	文化人類学
92	ポップカルチャー熱	文化人類学
93	アイルランド——北アイルランド問題を中心に	文化人類学
94	ロック音楽の歴史と社会(イギリスにおけるロック音楽の社会的影響力)	文化人類学
95	ライフスタイルと墓	文化人類学
96	地域活性化について	文化人類学
97	フィリピンの歴史・文化及び貧困について	文化人類学
98	NPO、NGOについて	文化人類学
99	聖地巡礼の世俗化について	文化人類学
100	集団の中で人の心理・行動について—組織心理学の観点から—	文化人類学
101	古代アステカ文明における宗教的世界観	文化人類学
102	女性画家の自己表象—フリーダ・カーロの自画像に着目して—	考古学
103	日系外国人の教育現場における諸問題	文化人類学
104	先スペイン期中南米諸地域の動物表象について	考古学
105	中央アンデスのワリ文化の考察	考古学